TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法 -

人間の堕落　ローマの信徒への手紙　１章 26-32節

2026 年 5 月 30日 & 31日
余沢　武　牧師

Ⅰ．はじめに
皆さん、こんにちは。今週末は「ファミリー・ギャザリング」です。新しい予算をはじめとする諸事項の承認を行います。TBC のメンバーの方でまだ投票を済ませていない方は、今から数分時間を取りますので、本日、投票を行ってください。紙の投票用紙を使用することができますので、お名前を記入し、該当する項目にチェックを入れてください。

投票用紙は後ほど献金かごに入れてください。鉛筆や投票用紙が見つからない場合は、手を挙げてください。係の方がお手伝いします。オンラインで礼拝に参加されている方は、オンライン投票をご利用ください。TBC のメンバーの方には、このようなメールが届いているはずです。メールを開き、下にスクロールして「投票する」をクリックしてください。情報を入力し、項目にチェックを入れて「送信」をクリックしてください。締め切りは日曜日の深夜 0 時です。

投票の間、すでに投票済みの方やメンバーでない方は、礼拝を続けましょう。

パウロはローマ信徒への手紙の中で、「私は福音を恥としません」と言っています。なぜなら、その福音の中に「神の義が啓示されている」からです。
被造物を通して、万物を創造された神がおられることがわかります。
しかし、私たちは神を創造主として認めようとしませんでした。
神は、私たちを心の邪悪な欲望に受け渡すことで、ご自身の怒りを表わされました。
その渡された欲望の一つが「性的不品行」です。
私たちは神によってエデンの園で始まった結婚を尊ぶことをやめ、結婚外の性的な思いや関係を求めるようになりました。そのうえ、さらにひどくなります。ですが、まず祈りましょう。

Ⅱ．人間の堕落
ローマの信徒への手紙 1：26－27 を開きましょう。
このように書いてあります。
[26] それで、神は彼らを恥ずべき情欲に任せられました。女は自然な関係を自然に反するものに替え、[27] 同じく男も、女との自然な関係を捨てて、互いに情欲を燃やし、男どうしで恥ずべきことを行い、その迷った行いの当然の報いを身に受けています。

二つ目の神により渡される欲望は「恥ずべき情欲」、すなわち同性愛関係です。

古代世界では、同性愛関係は一般的であり、特にギリシャ人の間で顕著でした。ギリシャ文化では、同性愛は純粋な愛であると教えられていました。同性愛関係の多くは、成人男性と少年、あるいは若い男性の間で結ばれていました。

しかし、それは成人女性や成人男性の間でも行われていました。一部のローマ人はこれを軽蔑していましたが、ローマの支配階級の間では広く受け入れられていました。聖書注解者のウィリアム・バークレーによれば、最初の 15 人のローマ皇帝のうち 14 人が同性愛者であったといいます――ネロもその一人でした。

しかしその中にあって、ユダヤ人たちは、いかなる同性愛関係にも加わることを拒みました。なぜなら、旧約聖書によれば、それは神が定めた秩序に反するとわかっていたからです。

この 20～30 年の間、世界がまた同性愛関係を「もうひとつのライフスタイル」として捉えるようになって以来、クリスチャンの間で同性愛関係を受け入れるために、聖書学者たちの間でこの考えに対する聖書の再解釈が試みられてきました。次のような主張もありました：

パウロは、「自然な関係を自然に反するものに替える」ことは罪であると述べているが、もし同性愛関係がその人にとって自然な傾向であるならば、それは罪ではないということになる。

しかし、これは誤った解釈です。「自然」という用語は「自然な傾向」を意味するのではなく、「神が男女を創造された際の意図」を意味するからです。パウロの指摘は、同性愛関係は、「神が男女を創造された際の意図」に反するものであるということです。

また、このように主張した人たちもいました：
「不自然な性的関係」とは、成人男性と少年との性的関係のみを指している。
しかし、この箇所では、成人男性同士の関係について明確に言及されていて、並行して成人女性同士の関係もふくまれます。パウロは明らかに、あらゆる同性愛的な行為を指しているのです。

または、パウロは単に当時のユダヤ人の感情を書き記したに過ぎない、あるいは単に間違っていたのだと主張する人々もいました。そして、パウロのこの箇所の言葉は間違いだと片づけられます。しかし、そのような見解は、イエスから遣わされた使徒としてのパウロの権威を否定するだけでなく、神の言葉としての聖書の権威をも否定することになります。

非常に難しいことではありますが、同性愛関係が「もう一つのライフスタイル」と見なされる現代においても、ほとんどの聖書学者は、聖書の教えは明確であると信じています。同性愛関係は、「性的不品行」と同様に、私たちが神と神が定められた秩序を認めようとしないことから生じる結果なのです。

では、この誘惑に苦しんでいる人は、どうすればよいのでしょうか。パウロは、私たちが神を認めなかったので、神は私たちを「恥ずべき情欲に任せられました。」と述べています。これは、問題がたんなる行動ではなく、自分たちの「欲望」や「情欲」からはじまることを指しています。ある意味では。

他の「性的不品行」についても同じです。独身男性は、女性と「性的関係」を持ったり、「彼女を情欲の対象」にしたりしてはなりません。もしそのような考えが頭に浮かんだとしても、すぐにそれを拒むなら、「誘惑を退けた」と言えるでしょう。
他の罪についても同じです。私たちは皆、様々な罪に陥ります。それは怒り、噂話、「同性愛的な情欲」、あるいはその他のものかもしれません。しかし、それが何であれ、その考えが心に浮かんだなら、すぐにそれを拒めば、私たちは誘惑を退けたことになります。

罪は罪です。私たちは同じように扱うのです。絶えずイエスに、私たちの心を守り、新しくしてくださるよう願い求め続けるものなのです。しかし、それは自分自身のためだけでなく、同性愛への情欲を含め、罪と闘う他の人々のためでもあります。神は、御心にかなう祈りに応えてくださいます。

（２）無価値な思い

28－31節：[28]彼らは神を知っていることに価値があると思わなかったので、神は、彼らを無価値な思いに渡され、そのため、彼らはしてはならないことをするようになりました。[29]あらゆる不正、邪悪、貪欲、悪意に満ち、妬み、殺意、争い、欺き、邪念に溢れ、陰口を叩き、[30]悪口を言い、神を憎み、傲慢になり、思い上がり、見栄を張り、悪事をたくらみ、親に逆らい、[31]無分別、身勝手、薄情、無慈悲になったのです。

つまり、私たちが神を認めないとき、神は私たちを、第一に「性的不品行」、第二に「恥ずべき情欲」、そして第三に「無価値な思い」に渡されます。私たちの心の欲望に応じて。

第一に、私たちの心は、人生を支配する4つの悪で満たされてしまう：
不正：神の命令やご性質に背くこと
邪悪：悪質なことに喜びを見出すこと
貪欲：他人を犠牲にしてでも、より多くを手に入れようと欲すること
悪意：他人に害を与えることに喜びを見出すこと

第二に、嫉妬とその結果に関連する5つの罪を犯してしまう：
嫉み：他人の喜びによって引き起こされる苦痛。
殺人：怒りや嫉妬によって引き起こされる行為。
争い：怒りに任せた議論。
欺き：自己の利益のために他人を欺く言葉。
邪念：他人に害を与えようとする意図。

第三に、高慢に関連する8つの罪を受け入れてしまう：
陰口：他人の評判を傷つけるために陰で囁くこと。
悪口：他人の評判を傷つけるために言うこと。
神を憎む：神に逆らう言葉を語る。
傲慢： 神に逆らう立場をとる
プライド： 自分が他より優れていると感じること
見栄を張る： 自分を特別に見せて人からの称賛を得ようとする。
悪事をたくらむ：悪を行うことに創意工夫を凝らすこと。
親に逆らう：親の願いを全く無視すること

第四に、4つの気高い特性を欠如させてしまう：
無分別：神の御心を理解することができない。
身勝手：約束や合意を守ることができない。
薄情：自分の家族を愛することができない。親は子を捨て、子は親を捨てる。
無慈悲：他者に思いやりを示すことができない。

私たちが神、神の秩序、そして神のご性質を認めないとき、神は私たちを心の欲望に渡されます。私たちは無分別で無慈悲な者となってしまいます。故神学者ジョン・マレーは、それについての例を挙げました：

古代ローマでは、コロッセオで剣闘士たちが互いに戦うと、街中の人々が集まって見物しました。剣闘士が血を流し、死にかける様子を見て人々はみんな拍手喝采を送りました。これは、私たちが無分別で無慈悲となる、完璧な例です。

私たちは、剣闘士の不運を喜んだりはしないかもしれませんが、スポーツや、嫌いな人、学校や職場のライバル、政治的立場が異なる人に対して、同じような無分別で無慈悲な心を示しているかもしれません。

あるいは、自分自身ではそうしなくとも、映画やテレビで他人がそうしているのを見て楽しむことがあるかもしれません。そのような悪意に満ち、無分別で、薄情で、無慈悲な者になってしまうのです。

（3）それを行う者を是認する

32節：[32]彼らは、このようなことを行う者が死に値するという神の定めを知っていながら、自らそれを行うばかりか、それを行う者を是認さえしています。

私たちはやがて、あからさまに不道徳で、貪欲で、噂好きで、高慢で、親に逆らい、無慈悲な者になってしまうのです。
かつては、結婚前に性的関係を持つことは恥ずべきこととされていました。しかし今では、そうしない人を嘲笑するようになりました。
かつては、親やその他の権威に逆らうことは不名誉なことと見なされていました。今では、人々は親不孝や反抗的な態度を自慢するようになりました。

パウロは言います。「彼らは、このようなことを行う者が死に値するという神の定めを知っていながら、自らそれを行うばかりか、それを行う者を是認さえしています。」

これらすべては、私たちが神を創造主として認めなくなり、神を信頼しなくなったために起こったのです。そして神の怒りが私たちに下り、神は私たちを心の欲望に任せられたからです。

だからこそ、たとえより良い道徳教育を推進しても、他人に変わるよう説得しても、あるいはより良い法律を制定しても、大した変化は生まれません。本当の問題は私たちの内側にあるからです。私たちは不純で、恥ずべき無価値な思いに満ち、神と神の創造した秩序に逆らい、死に値する存在となってしまったのです。

良い知らせがあります。今や、「神の義」はイエスの内に啓示されています。イエスがこの世に来られ、私たちの罪のために十字架上で死なれ、私たちに「神の義なる命」を与えてくださったのです。
自分の罪を認め、私たちの罪のためにイエスが死なれたことを受け入れ、イエスの義なる命を受け入れることによって、
私たちは赦され、神を私たちの神として認める新しい命を生きることができます。
神は、私たちを「性的不品行」、「堕落した欲望」、「無価値な思い」から救い出されます。

もしあなたがまだイエスを主であり救い主として受け入れたことがなく、助けてほしい、自分を変えてほしいとイエスに願ったことがないなら、今日そうすることをお勧めします。今日、あなたの人生を変えていただいてください。今日、その一歩を踏み出しましょう。

聖書によれば、これだけが私たちが、だれもが、変わるための、唯一の道なのです。

全ての人にイエスは必要なのです。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg2226jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
6 月 14(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9 月 6 日(日)1:00 pm ～ 5:00 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

3.日本語字幕オペレーター

9 時の礼拝の字幕オペレーターの募集です。
英語を聞いて日本語のページを矢印キーを押して進めるだけの簡単な作業です。
月1，2回。可能な日を月末に調整します。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org